

大分空港、殺菌装置などに2000万円

大分航空ターミナル（大分県国東市）は運営する同空港ビルの新型コロナウイルス対策を強化した。エアロシールド（旧エネフォレスト、大分市）が開発・販売する紫外線照射による殺菌装置を計45台設置。エイコー印刷（同県別府市）の抗ウイルス・抗菌のシールドを、階段の手すりやエレベーターのボタンなどに導入した。検温器の増設や自動手指消毒器の設置を含む事業費として約2000万円を投じる。

エアロシールドの装置は搭乗待合室やラウンジなどに設置した。同製品は東京ドームやJR西日本などの主要な指令所への導入実績がある。